

会 議 録

会議名称	令和4年度 第2回大空町文化財保護審議会	
開催日時	令和5年3月2日（木）	14時00分から 15時30分まで
開催場所	東藻琴総合支所委員会室	
出席者の氏名	委員出席者氏名（敬称略） 岩原繁、田中宏、児玉康弘、酒井千鶴子、武田修、 河崎琢哉、佐伯行路 教育委員会 歌丸主幹 河西主査	
傍聴者の数	—	
会議資料の名称	○令和4年度年第2回大空町文化財保護審議会 議案	
審議内容及び結果	<p>（1）藻琴山ミズナラ希少個体群保護林の周知について 事務局説明後、以下のとおり意見等があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 道迷いによる事故や、見学者による環境悪化が懸念される。周知は必要だが、具体的な場所は示さず、教育委員会職員が同行して案内したほうがよいのではないか。 ◆ 年に1～2回程度、教育委員会で見学会を開催してはどうか。 <p>（回答）見学会を開催する方向で検討する。</p> <p>（2）女満別湿生植物群落保全対策の今後の予定について 事務局説明後、以下のとおり意見等があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 呼人のミズバショウと比較されがちだが、女満別は湿生植物群落であり、ミズバショウ以外の植物も含めた群落であることをもっと周知すべき。 ◆ 保全対策検討委員会での検討内容について、途中 	

経過を周知したほうがよい。

(回答) 周知を検討する。

- ◆ かつて地域の方々にミズバショウ研究会を作って活動していたで、同様の活動をした方がよい。
(回答) そのような活動について、今後検討する。

(3) 大空町郷土資料室の今後の展示・保管方法について事務局説明後、以下のとおり意見等があった。

- ◆ 新しい研修会館を作ることは決定しているのか？
(回答) 現時点では計画段階である。
- ◆ 将来的に郷土資料館や博物館にしたいという意向が町にあるのか、町としての方向性を示すべき。
- ◆ 大空町には、アマチュアだが優れた書家や画家がいる。そういった方の作品も併せて展示できる施設があればよい。
- ◆ 資料を精査することは当然必要だが、提供いただいた大切なものもあるので、慎重に扱うべき。保管場所を考えることも重要。
- ◆ テーマを設けて、時代の流れに沿って展示したほうがよい。
- ◆ 既に壊れている資料の選別は、すぐにできるはず。
(回答) 同種の郷土資料については、すでに一覧にまとめて整理している。
- ◆ 眺めるだけでなく、体験できる展示が望ましい。
(回答) ダイヤル電話や手回し計算機など、実際に使用できるものを既に展示している。
- ◆ 中央 A 遺跡や豊里石刃遺跡は、考古学の研究者には非常に有名な遺跡なので、より見やすいように整理が必要。現在は、道指定文化財の石刃を研修会館に展示し、それ以外の石刃を生涯学習センターに展示している。

以上